

教育事業報告書

事業名	放課後児童クラブ（学童保育）向け体験活動出前事業
趣 旨	「放課後児童クラブ」へ通う児童を対象に、職員が団体の活動場所へ出向き、身近な場所における日常型・非日常型及び課題解決型の体験活動を提供する。この事業により様々な直接体験を通じて、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力を育む。自然の家の施設利用者が少ない時期の平日に、実施する。
期 日	平成 29 年 3 月 31 日（金） 9：50～11：10
場 所	米児童クラブ
参加者	米児童クラブに通う児童 42 名 米児童クラブ指導者 3 名

① 事業の特色

【レクリエーション】 9：50～10：15

「あいさつ」「集中」「推察」を取り入れた導入のゲームを行った。

【なすかしチャレラン】 10：15～11：10

レクリエーションゲームで6グループを作り、そのグループの中で審判・タイムキーパー・競技者の役割を決め、児童たちの自治で以下のプログラムをグループごとに実施した。

1. 空き缶積み
2. 割りばしダーツ
3. しりとり
4. 豆つまみ皿うつし
5. さいころ「1」出し
6. 声のばし



【レクリエーション】



【さいころ「1」出し】



【豆つまみ】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

レクリエーションでは、活動趣旨と合わせて、参加者の様子を伺うことを目的に行った。1～4年生と年齢幅があるため、高学年がリーダーシップをとれるよう、学年が混在するグループ分けをおこなった。

なすかしチャレランでは、楽しみ方の説明文を渡し、児童たちの自主運営でプログラムを実施した。役割分担が必要な旨のみ伝えたが、自分たちが自ら考え、審判やタイムキーパーの役割分担をし、楽しむことができていた。

<事業の課題>

集団行動・チームビルディングの成長を取り入れた活動、屋外での活動についての要望をいただいたため、今後、各児童クラブのニーズを取り入れたプログラムが実施できるよう準備する。

活動人数・活動スペースに合わせたプログラムを提供できるよう準備する。

事業推進係 宮崎一彰